

学校だより

令和元年9月30日



横浜市立川井小学校
校長 藤田 優

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawai/>

～令和の時代の学校づくり～

校長 藤田 優

まもなく前期が終了します。ここまでの学校教育へのご理解、ご協力に深く感謝いたします。終業式の日にわたす「あゆみ」が、子どもたちのこれからの成長を支える育ちの糧となることを期待しています。

「業務改善（働き方改革）」

子どもたちが日々成長する学校生活の場では、学校として「やればより良い」ことがたくさんあります。やればやったなりの成果が何かしらあるので、200日余りの学校生活に、これまで実に多くの取組が積み重ねられてきました。そして一旦始めるとそのまま続いて取り組まれるという現状がありました。

そこで、以前お伝えしました通り川井小学校では、「授業づくりに最大限の時間を割り当てたい」「教職員が生き生きと子どもたちに接する環境をつくりたい」の2点を目的に、様々な業務改善に取り組んでいます。

授業づくりでは、子どもたちが「分かった」「できるようになった」という実感をもてるように、学習の様子を丁寧に見とって次の学習準備をすることが必要です。多くの時間がかかります。教職員のことで、クラスで子どもたちに接する先生が生き生きとしていなくて、どうして学校生活に活気が生まれるでしょう。「教師が何よりの学習環境である」という言葉もあります。

取組例（年度末の学校報告にてより詳しくお伝えします）

一部教科担任制：教科や単元などを学年の実態に応じて一部分担し、2クラスを同じ先生が教えます。教材研究の効率化、学年の児童全体への理解などの効果があります。

計画年休：年間を通して、事前に年休の計画を立てます。自習体制にはせず、代わりに入る先生とあらかじめ学習内容を打合せし、進度通りに進めていきます。

「か・わ・い」に込められた学校教育目標に立ち止まり、本当に大事にしたいものは何かを共通理解するようにしています。「やればより良い」から「本当に大事なものを行う」に視点を変換しています。令和の時代に合わせて、持続可能な形を模索しながら、スピーディーかつクリエイティブに進めていければと考えています。

上記2点の目的だけでなく、「欠席連絡のメール化」や「QRコードを用いての参加申し込み」など、保護者の方にとっても利便性のある取り組みを取り入れています。学校評価アンケートなどで、皆様のご意見をいただき、より川井小らしい形にカスタマイズしていきたいと考えています。これからのご理解ご協力もよろしくお願いいたします。

2年「親守詩」に挑戦しました

道徳の授業で「子どもの成長を祝う日本の行事」を通して、育ててくれた人への感謝の気持ちについて学びました。

授業の前半では、子どもの成長を祝う日本の行事は0歳から1歳までにたくさんあることを押さえ、お七夜、お宮参り、お食い初めなどをクイズ形式で学習しました。そして、それらの行事をしてもしていなくても、「お家の人は、みんなを大切に大切に育ててきたのだよ。」ということを確認しました。

授業の後半は、親への感謝の気持ちを表す「親守詩」を作成しました。

親守詩とは、短歌の一つで、上の句（五七五）は、子どもが作ります。それを受けて、親などが下の句（七七）をつくります。授業中には、例を参考にしながら子どもが上の句を作りました。その後、保護者のご協力により、多くの親守詩が提出されました。心が温まる作品、つい笑ってしまう作品など、素晴らしい作品の数々です。この場を借りて、一部の作品をご紹介します。

親	子	親	子	親	子	親	子	親	子
うま	お父さん	あなた	お母さん	いいよ	おとう	おい	お母さん	二人	お母さん
てつく	教え	見た	あ	させ	あそ	すが	あ	が	い
ぼう	あり	た	い	て	ぼ	が	い	ん	お
う	が	く	い	く	う	た	が	の	つ
の	と	え	い	れ	も	う	食	お	か
わ	れ	が	ご	れ	ね	れ	べ	か	か
ね	う	ど	う	ば	も	い	る	れ	れ
う	て	う	は		も	し	う	て	さ
た	て	お	ん		ね	い	は	ま	ま
ね	て	う			も	い	ん	す	と
ざ		お			ね				

3年 長縄大会・昔の暮らし体験！

9月に行われた長縄大会では、各クラスで練習に取り組みました。1組は「クラス新記録」「心をひとつに」を、2組は「みんなで声をかけ合って、100回とぼう！」を目標に中休みや体育の時間に練習しました。初めはうまくタイミングがつかめず、跳べないことがありましたが、練習を重ねるうちにスムーズに連続跳びができるようになってきました。また跳べない友達がいた時には、優しく「ドンマイ」と自然に声かけができるようになりました。この活動を通して、クラスのまとまりを感じる事ができました。



社会で昔の暮らしの学習をしています。七輪を使って「火おこし」体験をしました。葉っぱや木の枝、新聞紙などを集めて、グループで協力しながら火おこしをしました。「思ったよりむずかしかった！」「自分たちでおこした火で焼いた野菜は、最高においしいね」「昔の人って家族みんなで協力して家事をしたらだね。これを毎日やるのは大変だな！！」どのグループも火をおこすことができました。



4年 資源循環局旭工場

9月26日(木)に社会科の学習で資源循環局旭工場に見学に行きました。普段、自分たちが出しているゴミが、どこに向かい、どのように処分されているのか、問題意識を持ちながら見学していました。子どもたちは、想像以上の規模の大きさに驚いていました。

私はゴミ処理場へ行って、いろんなことが分かりました。一番驚いたことは、ポイ捨てたゴミは海へ行ってしまい、海の生き物が餌と間違えて食べて、被害を与えてしまうということです。

一人ひとりがポイ捨てをしなければ、生き物の命が助かるなと思いました。

1組



資源循環局を見学して、おどろいたことが2つあります。1つ目は、ゴミは年間で、学校のプール280はい分集まるということです。2つ目は、ゴミをつかむクレーンが、一度につかむことができるのが5トンということです。私は、自分の体重の何倍だろうと思いました。

今の横浜は、3R夢の活動をしているので、私も自分のマイバックを持ったり、食べ物を残したりしないように心がけたいです。

2組

5年 三浦宿泊体験学習

9月20日(金)~21日(土)の2日間で三浦宿泊体験学習に行ってきました。天候にも恵まれ、いかだ・カヤックや野外炊事を行うことができました。昨年の愛川宿泊体験学習でのことを生かして、子どもたちは、自分たちで活動を作り上げていくことへの達成感を感じていました。また、集団としての課題にも向き合い、成長しようとする姿が見られ、大切なことをたくさん学んだ体験学習になりました。

三浦では、キャンドルファイヤーが1番心に残りました。ゲームやダンス、クラスの出し物はみんなで楽しめたので良いと思いました。

ダンスではみんなで、仲良く踊ったり、クラスの出し物では、1組と2組の出し物を見たりしていました。それぞれのクラスのことを真剣に見ることができたので良かったです。

1組



初めて室長をやってみて、みんなをまとめることの大変さを知ることができました。また、この2日間みんなと過ごして、これまであまり話したことがなかった人たちと、仲良くなれた気がしました。これからも、たくさんの人と話して仲良くなれたらなと思いました。

2組